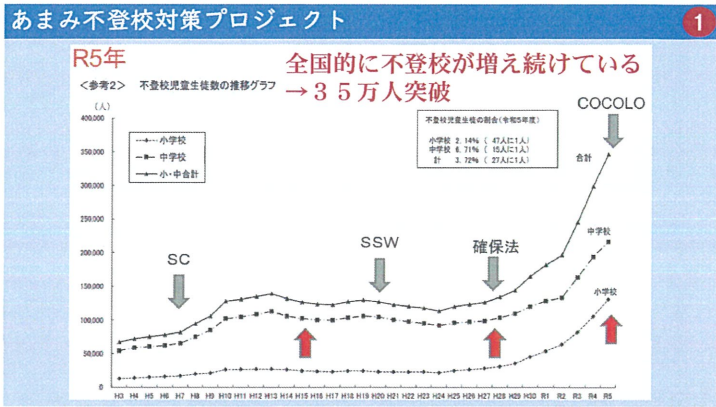




あまみ不登校対策プロジェクト

奄美市も例外ではなく増え続けている

年度	奄美市 不登校数	奄美市 増加率	全国 増加率
令和3年度	81人	—	—
令和4年度	101人	24.7%	22.1%
令和5年度	129人	27.7%	15.9%

※ 令和3年度→令和4年度→令和5年度は全国の増加率に比べて奄美市は大きい。
※ 全国的には、小学1～3年の増加率が一番高い(33.8%)。
中1ギャップ → 小1プロブレム

あまみ不登校対策プロジェクト

3つの不登校対策

○「学校が楽しい！」と言える毎日に…

Step 1

未然防止

- すべての児童生徒を対象に
- 日々の授業や学校生活の中で
- 「分かる授業」「居場所づくり」「絆づくり」

あまみ不登校対策プロジェクト

3つの不登校対策

○「様子がおかしいぞ！」と思ったら…

Step 2

初期対応

- 兆候が見られる児童生徒を対象に
- 継続的な欠席につながらない支援
- 教育相談や家庭訪問の充実

あまみ不登校対策プロジェクト

3つの不登校対策

○欠席が続いてしまったら…

Step 3

自立支援

- 欠席が続いた児童生徒を対象に
- 社会的自立に向けて
- 別室対応やSC、SSWとの連携
- 関係機関との連携(アウトリーチ支援)

あまみ不登校対策プロジェクト

『あまみ不登校対策プロジェクト』発足

令和6年度 第Ⅰ期

- 1 「魅力ある学校づくり」の推進
- 2 早期発見・早期対応の取組
- 3 関係機関と連携した支援の強化
- 4 「心の健康観察」のモデル校指定による先行的な取組とその成果の確認

令和7年度 第Ⅱ期

- 1 児童生徒再登校支援シート活用の研修
- 2 あまみ不登校対策推進協議会の実施
- 3 「心の健康観察」の全小中学校での実施
- 4 SSWの配置

令和8年度 第Ⅲ期

- 1 校内教育支援センターの設置
- 2 保護者相談会の検討

※ 計画的・継続的に行えるようにⅢ期で行うように計画変更

あまみ不登校対策プロジェクト

令和6年度 第Ⅰ期

- 1 「魅力ある学校づくり」の推進 **未然防止**
- 2 早期発見・早期対応の取組 **初期対応**
- 3 関係機関と連携した支援の強化 **自立支援**
- 4 「心の健康観察」のモデル校指定による先行的な取組とその成果の確認 **未然防止・初期対応**

あまみ不登校対策プロジェクト

令和6年度 第Ⅰ期

- 1 「魅力ある学校づくり」の推進 **未然防止**

不登校数を減らすには「新たな一人を出さない」
日々の「未然防止」の取組が必要不可欠となる。

管理職や生徒指導主任等の研修会において、

- 1 温かな学級づくり
- 2 子供同士や先生と子供の絆づくり
- 3 分かる授業づくり
- 4 小・中学校の連携
- 5 家庭との連携
- 6 魅力ある教師づくり

を中心に推進してきた。

あまみ不登校対策プロジェクト

令和6年度 第Ⅰ期

- 2 早期発見・早期対応の取組 **初期対応**

全学校で年5回以上の各種アンケートによる実態把握、分析を行い、教育相談に生かしている。
※ 令和6年度は全小中学校で5回以上実施

- 3 関係機関と連携した支援の強化 **自立支援**

各学校や福祉政策課、関係機関と連携し「ケース会議」を実施している。

あまみ不登校対策プロジェクト 10

令和6年度 第1期

4 「心の健康観察」のモデル校指定による先行的な取組とその成果の確認 **未然防止・初期対応**

名瀬中学校、崎原小中学校をモデル校として3学期から実施している。



「全校朝会」で説明・実施一次の日から全校生徒で実施



あまみ不登校対策プロジェクト 12

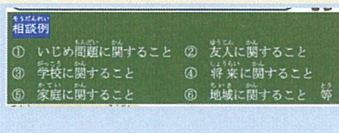
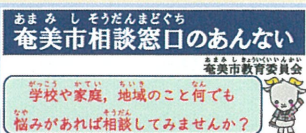
令和6年度 第1期

5 その他の取組

(2) 奄美市相談窓口の改訂

相談の方法が電話とメールで、メールでの相談が0件だった。相談方法を改訂し、二次コードからフォームで行えるように改訂した。

また、**各学校の学習eポータルに設定し**、簡単にフォームを開けるようにした。



あまみ不登校対策プロジェクト 14

令和6年度 第1期の成果

年度	奄美市 不登校数	奄美市 増加率	全国 増加率
令和3年度	81人	—	—
令和4年度	101人	24.7%	22.1%
令和5年度	129人	27.7%	15.9%
令和6年度	131人	1.6%	2.2%

- 令和5年度から令和6年度が増加率が大幅に減少した。
- 特に**中学校の不登校生徒数は減少した**(-13人)。
→ 中1ギャップの解消が図られていると考えられる。
- 学校職員の意識変容がみられてきた。

あまみ不登校対策プロジェクト 16

令和7年度 第2期

1 児童生徒再登校支援シート活用の研修 **初期対応・自立支援**

新規不登校児童生徒 (奄美市)

年度	小学校	中学校	合計
令和5年度	13人	43人	56人
令和6年度	15人	20人	35人
増減	+2人	-23人	-21人

- 魅力ある学校づくりの取り組みが各学校で進んでいる。
- 不登校の継続者数が減少していない。

あまみ不登校対策プロジェクト 18

令和7年度 第2期

1 児童生徒再登校支援シート活用の研修 **初期対応・自立支援**

再登校支援の研修を深めていくために鹿児島大学大学院教育学研究科 関山徹教授を講師に招いて4回の研修を計画した。

第2回	日時	6月25日(水)
	対象	各学校の生徒指導担当 28名
	表題	『仮想事例を通じた事例検討～再登校支援シート等の活用～』

- 仮想事例から実際に支援シートを活用し、家庭の背景を感じながら、支援の在り方の検討を行った。
- BPSモデルの有効性を確認し、BPSシートを活用した児童生徒理解としてのアセスメント方法の確認を行った。

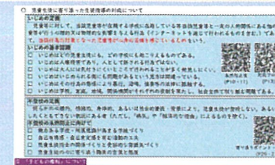
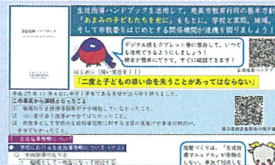
あまみ不登校対策プロジェクト 11

令和6年度 第1期

5 その他の取組

(1) 生徒指導ハンドブック【概要版】の作成

生徒指導ハンドブックの主要な情報をまとめた概要版(A3サイズ)を作成した。研修や生徒指導だけではなく、定期的なチェックポイントの活用が期待できる

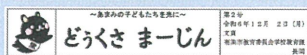


あまみ不登校対策プロジェクト 13

令和6年度 第1期

5 その他の取組

(3) 「生徒指導・進路指導・人権同和教育」通信の発行



また、生徒指導課には11月1日～11月15日に記載されていますのでご確認ください。暴力行為の状況については「授業改善」も見られるとされています。

今後は、児童生徒支援に努め、一人ひとりの成長や進路を大切にしたい指導の充実を図り、教職員と児童生徒との信頼関係が築いていけるようよろしくお願いします。

5.1.2 問題行動を起こす児童生徒に対する指導について
平成19年に策定された「問題行動を起こす児童生徒に対する指導について(通知)」の中で、**暴力行為の状況について**、教職員あるいは生徒間の暴力行為や脅迫・露骨の脅迫・威嚇行為だけでなく、**授業妨害**も見られるとされています。

また、問題行動への対応については、未然防止と早期発見・早期対応の対応が重要であるとして、「学校の秩序を確保する、後の児童生徒の学習を妨げる暴力行為に対しては、児童生徒が安心して学ぶ環境を確保するため、適切な措置を講ずることが必要」とし、十分な教育的配慮の下で、出席停止や懲戒など、毅然とした対応を行うことの必要性が示されています。具体的には、以下(抜粋)のように示されています。

事案から生徒指導要との関連性の確認

あまみ不登校対策プロジェクト 15

令和7年度 第2期

- 1 児童生徒再登校支援シート活用の研修 **初期対応・自立支援**
- 2 あまみ不登校対策推進協議会の実施 **自立支援**
- 3 「心の健康観察」の全小中学校での実施 **未然防止・初期対応**
- 4 SSWの配置 **未然防止・初期対応・自立支援**

あまみ不登校対策プロジェクト 17

令和7年度 第2期

1 児童生徒再登校支援シート活用の研修 **初期対応・自立支援**

再登校支援の研修を深めていくために鹿児島大学大学院教育学研究科 関山徹教授を講師に招いて4回の研修を計画した。

第1回	日時	5月7日(水)
	対象	各学校の教頭、生徒指導担当 53名
	表題	『関係づくりを大切にしたい再登校支援～多面的な理解と段階的・協働的な関わり～』

- 「自宅から教室への段階的支援」や「交流の3本柱」を中心に支援シートの作成の流れや活用方法の確認を行った。
- SCやSSWとも共通理解を図り、「報告」だけではなく「支援方略」まで検討していくことの確認を行った。

あまみ不登校対策プロジェクト 19

令和7年度 第2期

2 あまみ不登校対策推進協議会の実施 **自立支援**

出席が10日以下(奄美市:7月30日段階)

年度	小学校	中学校	合計
令和6年度	10人	17人	27人
令和7年度	13人	18人	31人
増減	+3人	+1人	+4人

- ICTを活用した学習支援を充実させていく。
- アウトリーチ支援を充実させていく。
- 学校と関係機関の連携が深まっていない。

あまみ不登校対策プロジェクト 20
令和7年度 第Ⅱ期
2 あまみ不登校対策推進協議会の実施 **自立支援**
民間も含めた、教育や福祉等の関係機関、SCやSSW、民生委員等の関係者が参画し、不登校児童生徒の現状の共有や可能な支援等の検討、今後の方向性を協議したい。
第2回 日時 8月22日(金)
奄美市福祉部局と連携し、各関係機関を招いて情報共有、支援方略の検討を行った。
● 不登校児童生徒の現状の共有はできたが、可能な支援等の検討、今後の方向性を協議できなかった。
● 学校教育課が主催で行うには、同じメンバーで会を開くため日程の調整や、旅費等の予算が難しくしている。

あまみ不登校対策プロジェクト 22
令和7年度 第Ⅱ期
3 「心の健康観察」の全小中学校での実施 **未然防止・初期対応**
1人1台端末等を活用した「心の健康観察」を実施し、児童生徒のメンタルヘルスの悪化やSOSを早期に把握し、SCやSSW、養護教諭等と情報共有しつつ、チームで支援を実施する体制構築を目指す。
日時 8月26日(火) 講師 高橋 聡美 先生
高橋先生からは、「児童生徒の利点がないと定着も難しい。子供たちのSOSを見逃さないようにすることが大事だ」と学ぶことができた。
2学期10月から全小中学校で実施開始予定となっている。

あまみ不登校対策プロジェクト 24
令和7年度 第Ⅱ期
5 その他
(1) 「魅力ある学校づくり」の継続とさらなる充実
ア 市定例教頭研修会
日時 7月1日(火)
研究協議 「魅力ある学校」について
イ 市定例校長研修会
日時 9月24日(水)
研究協議 「魅力ある学校づくり」について
● 本テーマに対する各学校の取組をグループにて交流し、各学校における「魅力ある学校づくり」をさらに加速させる。
● 教頭研修会においては、本年度「魅力ある学校づくり」の取組を推進している学校が事例発表を行なった。

あまみ不登校対策プロジェクト 26
令和7年度 第Ⅱ期
5 その他
(3) 「SOSの受け止め方」に関する研修会の継続的な実施
児童生徒への理解とSOSや些細な変化に気付くための全教職員を対象としたカウンセリングマインド研修等の充実を図る。
ア 奄美市自殺対策事業
児童・生徒のSOSの受け止め方と対処法を学ぶ研修会
日時 6月11日(水) 教職員60人参加
講師 高橋 聡美 先生(オンライン実施)

あまみ不登校対策プロジェクト 28
令和7年度 第Ⅱ期
5 その他
(4) 「生徒指導・進路指導・人権同和教育」通信の発行
「どうさ まーじん」
教職員へのいじめに対する態度が鈍い 児童生徒へのいじめに対する態度が鈍い
いじめ重大事態になった事例の確認

あまみ不登校対策プロジェクト 21
令和7年度 第Ⅱ期
3 「心の健康観察」の全小中学校での実施 **未然防止・初期対応**
1人1台端末等を活用した「心の健康観察」を実施し、児童生徒のメンタルヘルスの悪化やSOSを早期に把握し、SCやSSW、養護教諭等と情報共有しつつ、チームで支援を実施する体制構築を目指す。
日時 8月26日(火) 講師 高橋 聡美 先生
名瀬中学校、崎原小中学校が実践発表
● 「毎朝の児童生徒の心の状態を把握することができるため、生徒指導上の課題を早期に発見し、解決に向けて全職員で組織的に対応することができた。」という手応えを確認できた。

あまみ不登校対策プロジェクト 23
令和7年度 第Ⅱ期
4 SSWの配置 **未然防止・初期対応・自立支援**
SSWが配置されていない小中併設の特認校2校へ週2回程度ずつSSWを配置する。両校とも、特認生が占める割合が高く、学校と原籍校(児童生徒の住所)が離れているため、登校しづり等があった際、朝の時間帯や授業時間等に家庭訪問をすることが困難な状況がある。
そのため、SSWを配置することで、時間を問わずきめ細かく児童生徒、保護者対応等を行っていくことが期待できる。
● 子供、保護者、教職員の連携調整を図り、子供たちや先生方の相談体制が整い、実際に不登校数が減った。
※ 崎原小中 3人→1人 芦花部小中 3人→0人 (R6→R7:7月30日段階)

あまみ不登校対策プロジェクト 25
令和7年度 第Ⅱ期
5 その他
(2) 「あまみっ子」すこやかプログラム研修会の継続的な実施
日時 7月30日(水) 33人参加
講師 石塚 勝郎 氏(県教育カウンセラー協会)
「仲間づくり(構成的グループ・エンカウンター)の演習」

あまみ不登校対策プロジェクト 27
令和7年度 第Ⅱ期
5 その他
(3) 「SOSの受け止め方」に関する研修会の継続的な実施
イ SOSの出し方に関する教育(県、福祉部局と連携)
日時 9月上旬
講師 高橋 聡美 先生
生徒対応 金久中学校、名瀬中学校 NEW
保護者対応 朝日中学校区 NEW、名瀬中学校区 NEW
保護者参加数 40人 33人
ウ SOSの出し方、受け方に関する研修 NEW
日時 12月17日(水)
講師 田畑 健太郎 氏(県中央児童相談所)

あまみ不登校対策プロジェクト 29
令和7年度 第Ⅱ期の成果
不登校数(奄美市:7月30日段階)

年度	小学校	中学校	合計
令和6年度	27人	72人	99人
令和7年度	36人	45人	81人
増減	+9人	-27人	-18人

○ 中学校の不登校数が減少した。
● 全国の課題と同様、小学校の不登校数が増加した。
● 10月段階では小中ともさらに増加しているため、継続的な取組が大切となってくる。

あまみ不登校対策プロジェクト 30

令和8年度 第Ⅲ期

- 校内教育支援センターの設置 初期対応・自立支援
- 保護者相談会の検討 初期対応・自立支援

あまみ不登校対策プロジェクト 31

令和8年度 第Ⅲ期

- 校内教育支援センターの設置 初期対応・自立支援

今後の動き

学びたいと思った際に多様な学びにつなげることができるよう、不登校児童生徒の個々のニーズに応じた受け皿の整備

文部科学省

あまみ不登校対策プロジェクト 32

令和8年度 第Ⅲ期

- 校内教育支援センターの設置 初期対応・自立支援

児童生徒の不登校の段階

- 学校に行くことができるが、自分のクラスに入りづらい児童生徒
 - 校内教育支援センター（SSR）の設置
- 家から出ることはできるが、在籍する学校に行くことができない児童生徒
 - 学びの多様化学校（不登校特例校）の設置の検討
- 家から出ることはできるが、学校に行くことができない児童生徒
 - 教育支援センターの設置 → ふれあい教室（奄美市役所内）
- 家から出ることはできない児童生徒
 - オンラインの活用
 - アウトリーチ支援（学校とつながっていない家庭）

あまみ不登校対策プロジェクト 33

令和8年度 第Ⅲ期

- 校内教育支援センターの設置 初期対応・自立支援

児童生徒の不登校の段階

- 学校に行くことができるが、自分のクラスに入りづらい児童生徒
 - 校内教育支援センター（SSR）の設置

全国でも『校内教育支援センター』に先進的に取り組まれている市

岡崎市教育委員会へ視察

あまみ不登校対策プロジェクト 34

令和8年度 第Ⅲ期

- 校内教育支援センターの設置 初期対応・自立支援

奄美市教育委員会として今後取り組んでいくこと

令和7年度中

- モデル校の決定
- 人員の確保
- 校内教育支援センターの名称
- 校内教育支援センターの理念の作成
- 校内教育支援センターのしおりの作成
- 令和9年度に向けて
- 必要備品の購入

あまみ不登校対策プロジェクト 35

令和8年度 第Ⅲ期

- 保護者相談会の検討 初期対応・自立支援

保護者を支援する取組

- 朝日中学校・朝日小学校
家庭教育学級で、不登校児童生徒の保護者のみが対象ではなく、子育てにも困り感のある保護者を対象に悩み事の確認や意見交換を行っている。
- 名瀬中学校
教育相談室で、週に1回「ほっとサロンよ〜りよ〜り」という座談会を開催し、不登校児童生徒の保護者や子育てにも困り感のある保護者を対象に悩み事の確認や意見交換を行っている。

※ 教育委員会としてできることを検討していきたい。

あまみ不登校対策プロジェクト 36

不登校の取組について

成果について

不登校の背景には、人間関係の不安や心身の不調など、さまざまな事情があり、成果がすぐにあらわれるものではない。

- 不登校の背景には、人間関係の不安や心身の不調、学校生活への違和感など、さまざまな要因が複雑に関わっており、時間をかけて丁寧に向き合うことが必要となる。
- 各学校では、担任をはじめ多くの先生方やSC・SSW、関係機関が、子供や家庭と信頼関係を築きながら、少しずつ生活のリズムを整えさせたり、相談の機会を増やしたりと、地道な支援を続けている。

あまみ不登校対策プロジェクト 37

不登校の取組について

成果について

不登校の背景には、人間関係の不安や心身の不調など、さまざまな事情があり、成果がすぐにあらわれるものではない。

- 笑顔が戻る、家族との会話が増える、家庭学習に取り組めるようになるなど、目には見えにくい小さな変化が生まれる。これらは、将来の社会的自立や再登校につながる大切な成果であると受け止めている。
- 現場の先生方も、授業や学級運営の合間を縫って、子供の気持ちに寄り添いながら、粘り強く支援に取り組んでいる。

あまみ不登校対策プロジェクト 38

不登校の取組について

不登校数について

- 不登校の状況は、毎年、文部科学省の定義に基づき、市全体として把握している。
- 不登校は単なる数字ではなく、一人ひとりの子供の命や心の問題であり、その背景にはそれぞれ異なる事情や思いがある。
- 地区ごとや学校ごとの詳細な数値については、人数が少ない場合、児童生徒個人が特定されるおそれがあり、人権の保護の観点から公の場での公表は控えている。

あまみ不登校対策プロジェクト 39

再び学校へ

- 支援策の実施とフォロー
- 成果・課題をフィードバック
- 継続的な改善サイクル

教育委員会

- 学校課題の分析と支援方針化
- 支援チーム派遣、研修実施
- 地域資源（福祉・医療・NPO）との連携

学校現場

- 児童生徒の支援ニーズの把握
- 担任・生徒指導・SC・SSWの連携
- 事例検討・BPSシート活用

支援
伴走
コーディネート